

2018/1/22

新々連載

(漢字夜話と併載)

うときゅういっきの英語夜話 (ことば夜話)



うときゅういっきの英語夜話 (ことば夜話) を始めます。

といっても、学者さんでもないし、教員免許を持っているわけでもないし、留学したこともなければ、海外駐在したこともありません。

だから、難しい理屈ではなくて、こうやったら覚えやすいよ、楽しいよ、とか、自分でどんどん「英語は創れて」面白いよとか、そういうお話をしたいと思っています。

じゃあ、どこで英語を覚えたかという「日本で」です。

だって、わざわざ外国に行かなくても、今の日本、そこいらじゅう、外国人だらけだし、街中、看板、ポスター、標識、表示板、英語だらけじゃないですか。映画館だって DVD だって英語てんこ盛りですし。

何も、英語が完璧になるまで話しちゃいけないとか、一個でも間違えるとみんなの笑いものになるとか、そういう事さえ気にしなければ、つまり失敗や我流、OK,OK であれば、いまからでもしゃべれちゃうんじゃないかな？と思いますよ。

だから、もちろん受験英語ではありません。

それだけは、最初に断っておきますね。

因みに自分は、定年でお勤めを辞めてから、外国人の友達が出来て、その人と話したくて、あれこれやっているうちに自然と覚えたんです。

英会話学校にも一度も行ったことはありませんし、なんちゃら DVD も見たことがあります。

ただ、人と話したかった。その人がたまたまイングリッシュ・スピーカーだっただけです。片言の日本語で一生懸命話かけてきたり、話を一生懸命聞いてくれたり。そういう人が日本人にはいなくて、はるばる海外から出稼ぎにきた、英語がかなりしゃべれるアジア人がその聞き役になってくれたのです。

僕にとって、アジア人の直角三角形みたいな英語の発音は、欧米人の巻き舌英語に比べて、聞き取りやすくもあったのです。

そんなわけで、相手が何人（なにじん）であろうと、こちらとあちらにお互い興味、関心さえあれば、すぐにも上達するんです。

もし、それが初めにないと、いくら学校で一生懸命英語を覚えようとしたって身につかないと思います。だって、いやいや、なんですから。

そうして、詰まんない質問に対する、とても立派な答え方を教わり、やっとかき、志望校にはいりはしたものの、

「さて、何か訊きたいこと、どうしても話したい事って、あったっけ？」では、どうしようもありません。

まずは、どうしても訊きたいこと、話したい中身を持つことが一番、最初じゃないでしょうかね。

それを持つことが、すべての始まりで、自然とうまくなるコツだと思いますよ。

自分の経験では、ですけどね。

確かに他にもいろんな要素があって、それほど簡単ではないことは事実ですが、それを初回からやると、いやになられてしまいそうなので、敢えて初回は端折っておきます。

それは、今後の「お楽しみ」にしておきたいと思います。

もちろん「皆さんにとっての」お楽しみですから、ご心配なく。

それでは、最後に一言。

自分自身、まだ英語は完璧でも何でもありません。On the way 「途上」でしかありません。

語彙に関しては皆さんと大差ないのです。

でも、話し始める。怖がらずに。

そういうことでしかないんです、ね。秘訣は。